

くまもとアートポリス建築展2008

「みちをひらく」

総合記録



イベント一覧カレンダー

9月																															10月																														
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
シンポジウム													● オープニングシンポジウム「学びつつ創る、創りつつ育む これからの教育環境」																		● 「木造建築のKUMAMOTO的可能性」シンポジウム																														
展覧会													● アートポリス木造建築展																																																
協賛事業													7/23～7/27 第20回「熊本の建築家作品展」2008 7/26 熊本城見学会と「本丸御殿の復元」講演会																		● 世界のトイレ博物館が熊本にやってきたー！！										● 2008年日本建築学会賞 (作品)受賞者記念講演会 「作品を語る」 ● 西沢立衛講演会																				
11月															12月																																														
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
シンポジウム															● アジア国際建築フォーラム																● 菊池まちづくりワークショップ「まちの記憶を未来に繋ぐ」																														
展覧会															● くまもとアートポリス20周年記念展覧会「アートポリスの建築家たち」 ● くまもとアートポリス20周年記念展覧会「7つのプロジェクト展」 ● くまもとアートポリス20周年記念展覧会特別企画「佐藤光彦＋西沢立衛スペシャルトーク」																																														
見学ツアー															● アートポリス見学ツアー「阿蘇小園郷コース」 ● アートポリス見学ツアー「美星・山都コース」 ● アートポリス見学ツアー「八代・球磨コース」																																														
関連事業															● KAP建築セミナー「現代建築放談」 ● KAP建築セミナー「アートポリスプロジェクトの現場で設計者が語る ～モクバン＆芦北町交流センター」 ● くまもとアートポリス特別記念シンポジウム「ピーター・クックと未来を語る」																																														
協賛事業															● 木でつくる遊び場プロジェクト ASOVIVA ● 九州・沖縄における既存のRC建物の耐震性能 ● ふれあい講演会「石原良純講演＆トークショー」 ● 安全、エコとユニバーサルデザイン展 ● くまもとアートポリス・プロポーザル会員作品展 ● マルメ×MAMORU展 ● くまもと景観フォーラム ● 公共建築を考えるシンポジウム ● 第21回ライティングパーティー ● 楽楽楽フェスタ ● 河原町文化大発表 ● 第4回土木学会景観・デザイン研究発表会特別企画「風景をつくる現場」																																														

目次

1. イベントプログラム	2	2. 広報物	23
(1) シンポジウム等	3	(1) 広報の概要	24
① くまもとアートポリス建築展2008オープニングシンポジウム 「学びつつ創る、創りつつ育む これからの教育環境」	4	① 有償広告	25
② 菊池まちづくりワークショップ「まちの記憶を未来に繋ぐ」 ～わいふ今昔地図をつくる～	5	② 無償広告	25
③ 「木造建築のKUMAMOTO的可能性」シンポジウム	6	③ 新聞記事	27
④ アジア国際建築フォーラム ～豊かな都市(まち)づくりに向けて～	7	(2) 成果品等	39
(2) 展覧会	8	① 広告	40
① アートポリス木造建築展(「木造建築のKUMAMOTO的可能性」 シンポジウム・サテライト展)	9	② 印刷物	43
② くまもとアートポリス20周年記念展覧会 (A) 「アートポリスの建築家たち」	10	3. 参考資料	46
(B) 「7つのプロジェクト展」	11	① くまもとアートポリス建築展2008実行委員会会則	47
(C) 「佐藤光彦＋西沢立衛スペシャルトーク」 ～新名所発見 熊本駅前広場の魅力を探る～	12	② くまもとアートポリス建築展2008実行委員会委員名簿	49
(3) アートポリス見学ツアー	14		
(4) 関連事業	15		
① KAP建築セミナー 1日目「現代建築放談」	16		
2日目「アートポリスプロジェクトの現場で設計者が語る ～モクバン＆芦北町交流センター」	17		
② くまもとアートポリス特別記念シンポジウム 「建築家ピーター・クックと未来を語る」	18		
(5) 協賛事業	20		

1. イベントプログラム

(1) シンポジウム等

くまもとアートポリス建築展2008オープニングシンポジウム 「学びつつ創る、創りつつ育む これからの教育環境」

～建築家＋教育者＋児童＋市民 2つの学校計画から新しい建築のあり方を考える～

- 1 日 時 平成20年9月13日(土) 13:00～16:00
2 場 所 宇土市民会館
3 内 容 教育立市を目指す宇土市において、アートポリスプロジェクトとして実施している2つの小学校の改築事業を題材に、市民参画による新しい教育環境づくりを考えるシンポジウムを開催した。

- (1) オープニングアトラクション 宇土幼稚園園児(合唱)
(2) 主催者挨拶 岩下 修一(熊本県土木部次長)
田口 信夫(宇土市長)
(3) 基調講演 「新しい学びの風景と学習環境」
成田 幸夫(岐阜聖徳学園大学教育学部教授)
(4) アトラクション 鶴城中学校吹奏楽部(演奏)
(5) 学校計画報告 宇土小学校 小嶋 一浩＋赤松 佳珠子
(シーラカンス・アンド・アソシエイツ)
網津小学校 坂本 一成
(アトリエ・アンド・アイ)
(6) パネルディスカッション 「学校づくり最前線『魅力ある学校』」
コーディネーター 末廣 香織(建築家、九州大学准教授、くまもとアートポリスアドバイザー)
アドバイザー 成田 幸夫
パネリスト 宇土市教育長 木下 博信
小嶋 一浩＋赤松 佳珠子
坂本 一成
田中 士郎(網津小学校長、同校改築検討委員会委員長)
西山 敦子(宇土小学校長、同校改築検討委員会委員長)
濱下 かおり(網津小学校PTA副会長、同校改築検討委員会委員)
元松 茂樹(宇土小学校PTA会長、同校改築検討委員会委員)

- 4 来場者数 400名
5 開催状況



アトラクション(宇土幼稚園児)



基調講演 成田幸夫氏



学校計画報告
シーラカンス・アンド・アソシエイツ(小嶋氏、赤松氏)



学校計画報告
アトリエ・アンド・アイ(坂本氏)



児童による発表



パネルディスカッション

菊池まちづくりワークショップ 「まちの記憶を未来に繋ぐ」

～ わいふ今昔地図をつくる ～

- 1 日時 平成20年12月10日(水) 19:00～21:00
- 2 場所 菊池市福祉会館
- 3 内容 観光振興、中心市街地の活性化、居住環境の改善を目指す菊池市において、アートポリスプロジェクトとして実施しているポケットパークを題材に、市民と連携したまちづくりの一層の推進を図るため、ワークショップを開催した。
 - (1) 開会挨拶 生田 博隆(熊本県土木部建築課長)
 - (2) ワークショップ
ファシリテーター 塩塚隆生(塩塚隆生アトリエ)
 - ・地区毎に今昔地図を作製
 - ・完成地図をもとに各地区の特徴を説明
 - ・まちの歴史の共有とまちづくりの大切な視点の意見交換
 - (3) 菊池のまちづくりやポケットパークの計画に関する意見交換と市民参画の重要性の確認
 - (4) 全体まとめ
- 4 来場者数 50名
- 5 開催状況



設計者 塩塚 隆生 氏



地区毎に今昔地図作製



地区模型



各地区の特徴説明



今昔地図の感想



公園整備についての意見

「木造建築のKUMAMOTO的可能性」シンポジウム

-
- 1 日 時 平成20年10月9日(木)及び10日(金)
2 場 所 くまもと県民交流館パレア「パレアホール」
3 内 容 熊本で伝統的に育まれてきた木造建築の“今”を在熊の使い手、林業関係者、設計者、建設関係者が一堂に会し、熊本の木造建築の特徴、木材の地産地消、これからの木造建築について、アートポリスの視点を交えて2夜にわたり円卓討論するシンポジウムを開催した。

(1) 開会挨拶 岩下 修一(熊本県土木部次長)

(2) プレゼンテーション

(3) パネルディスカッション

コーディネーター 桂 英昭(建築家、熊本大学准教授、くまもとアートポリスアドバイザー)

パネリスト 池田 元吉(熊本県林業研究指導所)

入江 雅昭(IGA建築計画)

北原 昭男(熊本県立大学教授)

小材 健治(ばん設計小材事務所)

佐藤 大八(喜太郎)

柴田 真秀(UL設計室)

末廣 香織(建築家、九州大学准教授、くまもとアートポリスアドバイザー)

曾我部 昌史(建築家、神奈川大学教授、くまもとアートポリスアドバイザー)

西沢 大良(西沢大良建築設計事務所)

西山 英夫(建築環境研究所)

久田 基治(構造設計工房デルタ)

古川 保(すまい塾古川設計室)

渡瀬 正記(設計室)

4 来場者数 300名

5 開催状況



コーディネーター 桂 英昭氏



パネルディスカッション 古川氏



パネルディスカッション 渡瀬氏



パネルディスカッション 西沢氏



パネルディスカッション 末廣氏



パネルディスカッション 曾我部氏

「アジア国際建築フォーラム」

～ 豊かな都市(まち)づくりに向けて ～

- 1 日 時 平成20年11月21日(金) 13:00～17:10
2 場 所 熊本県立劇場 「演劇ホール」
3 内 容 建造物を利用した豊かな景観づくりや都市政策を進めるアジア3カ国(韓国・台湾・シンガポール)の実務者を招き、県内経済界の代表者も交え、これからの豊かな都市づくりについて考えるシンポジウムを開催した。

- (1) 開会挨拶 蒲島 郁夫(熊本県知事)
(2) 来賓祝辞 村上 寅美(熊本県議会議長)
(3) 第1部 基調講演 「7人の侍」
伊東 豊雄(建築家、くまもとアートポリスコミッショナー)
(4) 第2部 プレゼンテーション 「アジア各国の都市戦略」
①「韓国の文化都市戦略と活動」
イ・ビョンフン(韓国政府 文化体育観光部アジア文化拠点都市推進団団長)
②「シンガポールにおけるデザイン ～ チャレンジ ～」
エドモンド・チャン(シンガポール ナショナル・アーツカウンシル会長)
③「台中市におけるビジョン、プラン及びグランドプロジェクト」
曾 成徳(台湾東海大学建築学部教授)
(5) 第3部 パネルディスカッション 「豊かな都市(まち)づくりに向けて」
コーディネーター 伊東 豊雄
パネリスト イ・ビョンフン(韓国)
エドモンド・チャン(シンガポール)
曾 成徳(台湾)
丸本 文紀(株式会社県民百貨店 くまもと阪神 代表取締役社長)
石原 靖也(東光石油株式会社 代表取締役社長)

- 4 来場者数 550名
5 開催状況



開会挨拶
熊本県知事 蒲島 郁夫



基調講演 伊東 豊雄氏



プレゼンテーション
韓国 イ・ビョンフン氏



プレゼンテーション
シンガポール エドモンド・チャン氏



プレゼンテーション
台湾 曾 成徳氏



パネルディスカッション

(2) 展覧会

「アートポリス木造建築展」

（「木造建築のKUMAMOTO的可能性」シンポジウム・サテライト展）

- 1 日時 平成20年9月20日(土)～21日(日) 10:00～16:30
- 2 場所 グランメッセ熊本
- 3 内容 「くまもと県民木材ふれあいまつり」への出展として、アートポリスプロジェクトの最新木造建築作品のパネル及び模型等を展示し、木造建築と林業の可能性を伝えた。
- 4 来場者数 18,500名
- 5 展示状況



展示状況(モクバンコンペ優秀作品・プロジェクト模型)



展示状況(プロジェクト模型・バンガロー使用原寸大木材)



来場者状況

くまもとアートポリス20周年記念展覧会

「アートポリスの建築家たち」

- 1 日時 平成20年11月26日(水)～30日(日) 平日8:30～18:30 土曜・日曜9:00～17:15
- 2 場所 熊本県立美術館分館「第4展示室」
- 3 内容 これまでアートポリスに関わった建築家の現在を伝えるパネルや模型などを展示し、アートポリスが建築界に果たした役割や意義を伝えるための展覧会を開催した。
- 4 来場者数 300名
- 5 展示状況

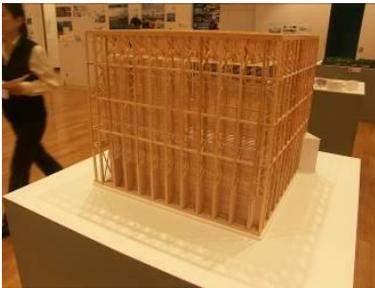


展示状況

(アートポリス建築家作製パネル70点・模型21点・書籍43点)



展示状況(模型・出版物)



展示状況(模型)



来場者状況

くまもとアートポリス20周年記念展覧会

「7つのプロジェクト展」

- 1 日時 平成20年11月26日(水)～30日(日) 平日8:30～18:30 土曜・日曜9:00～17:15
- 2 場所 熊本県立美術館分館 「第2展示室」
- 3 内容 球磨村森林組合の木造バンガロー、熊本駅前広場や芦北町交流センター(地域資源活用総合交流促進施設)など現在進行中の7つのアートポリスプロジェクトを模型や映像等で紹介し、「学びつつ創る、創りつつ育む」をテーマとした第3期のアートポリスを紹介する展覧会を開催した。
- 4 来場者数 281名
- 5 展示状況



展示状況(熊本駅西口駅前広場コンペ優秀作品)



展示状況(球泉洞休暇村バンガローコンペ優秀作品)



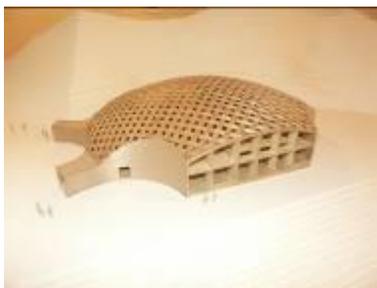
熊本駅西口駅前広場



熊本駅東口駅前広場



モクバンR2



芦北町交流センター
(芦北町地域資源活用総合交流促進施設)



宇土市立宇土小学校



宇土市立綱津小学校

くまもとアートポリス20周年記念展覧会特別企画

「佐藤光彦＋西沢立衛スペシャルトーク」

～ 新名所発見 熊本駅前広場の魅力を探る ～

- 1 日 時 平成20年11月30日(日) 14:00～16:00
- 2 場 所 熊本県立美術館分館「第2展示室」
- 3 内 容 7つのプロジェクト展の主要作品である2つの駅前広場について、県民の理解をより深めるため、設計者によるスペシャルトークを開催した。
- 4 参加者数 120名
- 5 開催状況



開催状況



観客



熊本駅西口駅前広場設計者 佐藤氏



熊本駅西口駅前広場模型



佐藤氏、西沢氏



熊本駅東口駅前広場設計者 西沢氏



熊本駅東口駅前広場模型



司会 大橋氏

(3) アートポリス見学ツアー

「アートポリス見学ツアー」

- 1 日 時 ① 平成20年11月22日(土)
「阿蘇小国郷コース」：文化薫る小国郷の木造建築物と黒川温泉・癒しのコース
② 平成20年11月29日(土)
「美里・山都コース」：峡谷の美しい橋に、アートと歴史を感じるコース
③ 平成20年12月7日(日)
「八代・球磨コース」：国宝青井阿蘇神社とアートな建築物に触れるコース
- 2 場所・内容 景勝地などの観光地や歴史的建造物などとともにアートポリスの施設見学をするバスツアーを実施した。
- ①「阿蘇小国郷コース」参加費3,000円
交通センター → 県庁 → 坂本善三美術館 → ◎ゆうステーション → 夢・天空の地(昼食)
→ ◎小国ドーム → ◎木魂館 → 北里柴三郎記念館 → ☆北里小学校屋内運動場
→ 黒川温泉郷の散策・温泉浴 → 県庁 → 交通センター
- ②「美里・山都コース」参加費3,000円
交通センター → 県庁 → ☆美里町林業総合センター → ☆美里町文化交流センターひびき
→ <◎霊台橋> → ☆鮎の瀬大橋 → ◎通潤橋 → ☆清和文楽邑(昼食) → ☆馬見原橋
→ そよ風パーク → サントリー九州熊本工場 → 県庁 → 交通センター
- ③「八代・球磨コース」参加費3,000円
交通センター → 県庁 → (高速) → ☆湯前まんが美術館 → ◎多良木町交流館石倉
→ 谷水薬師 → ひまわり亭(昼食) → ◎国宝・青井阿蘇神社 → 織月酒造 → (高速)
→ ☆八代市立博物館 → ◎八代広域消防本部 → (高速) → 県庁 → 交通センター

※凡例 ☆くまもとアートポリス施設、◎くまもとアートポリス関連施設(推進賞、既存選定建造物)、<>車窓からの見学

3 参加者数 189名(①「阿蘇小国郷コース」72名 ②「美里・山都コース」41名 ③「八代・球磨コース」76名)

4 実施状況



阿蘇小国郷コース(坂本善三美術館)



阿蘇小国郷コース(小国ドーム)



阿蘇小国郷コース(北里柴三郎記念館)



八代・球磨コース(湯前まんが美術館)



八代・球磨コース(多良木町交流館石倉)



八代・球磨コース(国宝・青井阿蘇神社)

(4) 関連事業

1日目 「現代建築放談」

伊東豊雄＋赤松佳珠子＋桂英昭＋小嶋一浩＋坂本一成＋末廣香織＋曾我部昌史＋高橋晶子＋高橋寛＋藤本壮介＋永吉歩＋渡瀬正記＋KAP

.....

- 1 日 時 平成20年11月22日(土) 13:00～17:00
2 場 所 熊本県庁「本館地下大会議室」
3 内 容 アートポリスコミッショナー・アドバイザー、アートポリスの最新プロジェクトの建築家とともに現代建築を考えるセミナーを開催した。

(1) 開会挨拶 岩下 修一(熊本県土木部次長)

(2) プレゼンテーション

(3) パネルディスカッション (フリートーク)

パネリスト

伊東 豊雄(建築家、くまもとアートポリスコミッショナー)

赤松 佳珠子(シーラカンズ・アンド・アソシエイツ)

桂 英昭(建築家、熊本大学准教授、くまもとアートポリスアドバイザー)

小嶋 一浩(シーラカンズ・アンド・アソシエイツ)

坂本 一成(アトリエ・アンド・アイ)

曾我部 昌史(建築家、神奈川大学教授、くまもとアートポリスアドバイザー)

高橋 晶子(ワークステーション)

高橋 寛(ワークステーション)

藤本 壮介(藤本壮介建築設計事務所)

永吉 歩(設計室)

渡瀬正記(設計室)

コーディネーター 末廣 香織(建築家、九州大学准教授、くまもとアートポリスアドバイザー)

4 来場者数 300名

5 開催状況



会場風景



伊東コミッショナー



シーラカンズ・アンド・アソシエイツ(小嶋氏、赤松氏)



坂本氏、桂アドバイザー



末廣・曾我部アドバイザー、藤本氏



観客

2日目 「アートポリスプロジェクトの現場で設計者が語る ～モクバン&芦北町交流センター～」

- 1 日 時 平成20年11月23日(日) 8:50~18:30
- 2 場 所 芦北町花岡及び球泉洞休暇村
- 3 内 容 アートポリス最新プロジェクトの現場見学と設計者によるショートレクチャーで木造建築の魅力を探るセミナーを開催した。
- (1) 芦北町交流センター(芦北町地域資源活用総合交流促進施設)に関するショートレクチャー 設計者 高橋 晶子、高橋 寛(ワークステーション)
 - (2) 芦北町交流センター現場見学
 - (3) 球泉洞休暇村バンガロー現場見学
 - (4) 球泉洞休暇村バンガローに関するショートレクチャー 設計者 藤本 壮介(藤本壮介建築設計事務所)
- 4 参加者数 110名
- 5 開催状況



現場見学(芦北町交流センター)



現場見学(球泉洞休暇村バンガロー)



ショートレクチャー(芦北町)



ショートレクチャー(芦北町 高橋氏)



現場見学(芦北町交流センター)



現場見学(球泉洞休暇村バンガロー)



ショートレクチャー(球泉洞休暇村 藤本氏)



ショートレクチャー(球泉洞休暇村)

くまもとアートポリス特別記念シンポジウム

「建築家ピーター・クックと未来を語る」

- 1 日 時 平成20年12月8日(月) 13:00~16:30
2 場 所 熊本テルサ「テルサホール」
3 内 容 1960・70年代に、未来的で奇想天外な建築を提唱し、建築界に旋風を巻き起こしたイギリスの建築家集団、アーキグラムの中心的メンバーであったピーター・クック氏を迎え、アートポリスコミッショナー、アドバイザーに国内外で活躍中の若手建築家を加え、アートポリスや建築の未来を語るシンポジウムを開催した。

- (1) 開会挨拶 岩下 修一(熊本県土木部次長)
(2) 第1部 記念講演 「BLUE, GREEN AND RED」
ピーター・クック(建築家、英国王立芸術アカデミー教授)
(3) 第2部 パネルディスカッション 「建築の未来を語る」
パネリスト ピーター・クック
伊東 豊雄(建築家、くまもとアートポリスコミッショナー)
松原 弘典(建築家)
藤村 龍至(建築家)
桂 英昭(建築家、熊本大学准教授、くまもとアートポリスアドバイザー)
末廣 香織(建築家、九州大学准教授、くまもとアートポリスアドバイザー)
コーディネーター 曾我部 昌史(建築家、神奈川大学教授、くまもとアートポリスアドバイザー)
(4) 総括・閉会挨拶 伊東 豊雄

- 4 来場者数 300名
5 開催状況



記念講演



記念講演 ピーター・クック氏



伊東コミッショナーによる講演者の紹介



パネルディスカッション



パネルディスカッション

(5) 協賛事業

協賛事業実施状況(17事業)

● 第20回「熊本の建築家作品展」2008

- 1 主催 日本建築家協会九州支部熊本会
- 2 期日 平成20年7月23日(水)～7月27日(日)
- 3 場所 熊本県立美術館分館
- 4 内容 熊本在住の建築家の作品を、模型や写真で展示する作品展を開催した。
- 5 来場者数 431名

● 熊本城見学会と「本丸御殿の復元」講演会

- 1 主催 日本建築家協会九州支部熊本会
- 2 期日 平成20年7月26日(土)
- 3 場所 同仁堂5階会議室
- 4 内容 平成20年5月に公開された熊本城「本丸御殿」を見学し、復元に関する講演会を開催した。
- 5 来場者数 42名

● 世界のトイレ博物館が熊本にやってキター！！

- 1 主催 TOTOリモデルクラブ熊本店会
- 2 日時 平成20年9月20日(土)～9月21日(日) 10:00～18:00
- 3 場所 TOTO熊本ショールーム
- 4 内容 世界各国のトイレを紹介するとともに、節水(ECO)について考える展示会を開催した。
- 5 来場者数 811名

● 2008年日本建築学会賞(作品)受賞者記念講演会「作品を語る」

- 1 主催 日本建築学会、熊本大学工学部
- 2 日時 平成20年10月24日(金) 18:00～20:30
- 3 場所 熊本大学工学部百周年記念館
- 4 内容 建築家 岩崎堅一氏、建築家 手塚貴晴氏が学会賞受賞作品について語る講演会を開催した。
- 5 来場者数 200名

● 西沢立衛講演会

- 1 主催 熊本県立大学
- 2 日時 平成20年10月26日(日) 13:30～15:30
- 3 場所 熊本県立大学大講義室
- 4 内容 建築家 西沢立衛氏が進行中プロジェクトについて語る講演会を開催した。
- 5 来場者数 200名

● 木でつくる遊び場プロジェクト ASOVIVA

- 1 主催 木でつくる遊び場プロジェクト実行委員会
- 2 期日 平成20年11月8日(土)、9日(日)
- 3 場所 熊本県立大学環境共生学部旧棟中庭
- 4 内容 学生による木造の遊具・遊び場の提案を通して、「木の可能性」と「子どもの遊び場」について考える発表会を開催した。
- 5 来場者数 280名

● 九州・沖縄における既存RC造校舎の耐震性能

- 1 主催 社団法人日本コンクリート工学協会九州支部
- 2 期日 平成20年11月17日(月)
- 3 場所 熊本県立劇場大会議室
- 4 内容 上記協会九州支部「耐震診断・補強」専門委員会の2年間の調査研究成果の報告を行った。
- 5 来場者数 125名

● ふれあい講演会「石原良純講演&トークショー」

- 1 主催 財団法人熊本県建築住宅センター
- 2 期日 平成20年11月18日(火)
- 3 場所 くまもと県民交流館パレア9階 会議室1
- 4 内容 タレント石原良純氏による家族の絆を深める住まいの大切さを語る講演とトークショーを開催した。
- 5 来場者数 301名

● 安全、エコとユニバーサルデザイン展

- 1 主催 東芝エレベータ株式会社、東芝キャリア株式会社、東芝ライテック株式会社、株式会社古庄本店
- 2 期日 平成20年11月21日(金)
- 3 場所 熊本県立劇場 演劇ホール
- 4 内容 照明や空調などのエコ商品、ユニバーサルデザイン製品を提案する展示会を行った。
- 5 来場者数 62名

● くまもとアートポリス・プロポーザル会員作品展

- 1 主催 社団法人熊本県建築士事務所協会
- 2 期日 平成20年11月24日(月・祝日)
- 3 場所 くまもと県民交流館パレア9階 会議室1
- 4 内容 会員のくまもとアートポリスプロポーザル参加作品を紹介する作品展を開催した。
- 5 来場者数 50名

● マモル×MAMORU展

- 1 主催 Archestra ー建築創造企画委員会ー
- 2 期日 平成20年11月24日(月・祝日)
- 3 場所 ギャラリー創臈(つくろう)
- 4 内容 旧熊本貯金支局と設計者の山田守をテーマとするパネル、模型の展示会、シンポジウムを開催した。
- 5 来場者数 80名

● くまもと景観フォーラム

- 1 主催 社団法人熊本県建築士会
- 2 期日 平成20年11月28日(金)
- 3 場所 同仁堂ホール スタジオライフ
- 4 内容 建築家 三井所清典氏を迎え、景観形成への建築士の関与と果たすべき役割について考えるシンポジウムを開催した。
- 5 来場者数 80名

● 公共建築を考えるシンポジウム

- 1 主催 社団法人公共建築協会、公共建築の日実行事務局
- 2 期日 平成20年11月29日(土)
- 3 場所 熊本市役所14階大ホール
- 4 内容 建築家の妹島和世氏と西沢立衛氏とのユニットであるSANAAの活動に関する講演会と公共建築の可能性を考えるディスカッションを行った。
- 5 来場者数 160名

● 第21回ライティングパーティー

- 1 主催 日本建築家協会九州支部熊本会
- 2 期日 平成20年12月5日(金)
- 3 場所 同仁堂スタジオライフ
- 4 内容 会員等による自作の照明器具の展示を行った。
- 5 来場者数 80名

● 楽楽楽フェスタ

- 1 主催 財団法人清和文楽の里協会
- 2 期日 平成20年12月7日(日)
- 3 場所 清和文楽館
- 4 内容 熊本・宮崎を代表する伝統芸能「高千穂の夜神楽」と「清和文楽人形芝居」を堪能するフェスティバルを開催した。
- 5 来場者数 200名

● 河原町文化大爆発

- 1 主催 河原町文化開発研究所
- 2 期日 平成20年12月7日(日)
- 3 場所 熊本市河原町繊維問屋街
- 4 内容 「マチとヒトをつなぐアート」をキーワードに、クリエイターやアーティスト等によるトークセッション、建築家によるスライドレクチャーを行った。
- 5 来場者数 900名

● 第4回土木学会景観・デザイン研究発表会特別企画

「風景をつくる現場」

- 1 主催 土木学会景観・デザイン委員会
- 2 共催 風景デザイン研究会
- 3 期日 平成20年12月12日(金)
- 4 場所 熊本大学工学部百周年記念館
- 5 内容 現場の第一線に立つ気鋭のデザイナーを迎え、建築と土木の立場から「風景をつくる現場」をテーマに議論する講演・シンポジウムを開催した。
- 6 来場者数 200名

2. 広報物

(1) 広報の概要

① 有償広報

(1) 新聞広告

- ・ 10月23日(木) 熊本日日新聞(朝刊半5段カラー)
内容 : アートポリス見学ツアーの告知
- ・ 11月2日(日) 熊本日日新聞(朝刊5段カラー)
内容 : アジア国際建築フォーラム、くまもとアートポリス20周年記念展覧会を中心に全体イベントの告知
- ・ 11月6日(木) 熊本日日新聞(朝刊半5段カラー)
内容 : アジア国際建築フォーラムの告知
- ・ 11月9日(日) 熊本日日新聞(朝刊5段カラー)
内容 : アジア国際建築フォーラム、くまもとアートポリス20周年記念展覧会を中心に全体イベントの告知
- ・ 11月16日(日) 熊本日日新聞(朝刊5段カラー)
内容 : くまもとアートポリス20周年記念展覧会、くまもとアートポリス特別記念シンポジウムを中心に全体イベントの告知
- ・ 11月20日(木) 熊本日日新聞(朝刊半5段カラー)
内容 : くまもとアートポリス20周年記念展覧会の告知

(2) 情報誌広告

- ・ 10月28日(土) くまにちすばいす(13段カラー)
内容 : アートポリス見学ツアーを中心に全体イベントの告知

(3) 印刷物

- | | | |
|--------------------------------------|--------------|--------|
| ・ くまもとアートポリス建築展2008プログラムリーフレット | 三つ折りA4版 6ページ | 7,000部 |
| ・ くまもとアートポリス建築展2008プログラムチラシ | A4版 | 1,000部 |
| ・ くまもとアートポリス建築展2008オープニングシンポジウムプログラム | A4版 | 800部 |
| ・ アジア国際建築フォーラム周知用チラシ | A4版 | 2,000部 |
| ・ アジア国際建築フォーラムプログラム | A4版 | 1,000部 |

② 無償広報

(1) 県広報

- 1 テレビ
 - ・ 9月16日(火)~23日(火) NHKデータ放送
内容 : 全体イベントの告知
 - ・ 10月21日(火) KKT「熊本・元気モン」
内容 : アートポリス見学ツアーの告知
 - ・ 12月8日(月) RKK「くまもと6ミニッツ」
内容 : アートポリスの最近の状況及び実施イベントの紹介
- 2 ラジオ
 - ・ 9月30日(火) RKK「ふれあいくまもと」
内容 : 全体イベントの告知
 - ・ 10月2日(木) FMK「県庁ダイアリー」
内容 : 全体イベントの告知
 - ・ 10月27日(月) FMK「県庁ダイアリー」
内容 : 全体イベントの告知

3 インターネット

- ・ 9月4日(木)～11日(木)「週刊メールマガジン」
内容：シンポジウム「学びつつ創る、創りつつ育む これからの教育環境」の告知
- ・ 9月11日(木)～「くまもとアートポリスホームページ」
内容：全体イベント(詳細)の告知(適宜、最新の情報に更新)
- ・ 10月1日(水)から約1年間掲載「熊本県インターネット放送局-KIBS」(1分30秒の動画)
内容：最近のアートポリスの活動紹介 タイトル:「躍動するくまもとアートポリス ～住民とともに創る『新しい建築』『熊本の未来』」
- ・ 11月4日(火)～30日(月)「県庁ホームページ」(トップページ：「今月(11月)の特集」コーナー)
内容：全体イベントの告知
- ・ 11月13日(木)～20日(木)「週刊メールマガジン」
内容：全体イベントの告知

4 その他

- ・ 11月5日 県政記者クラブへ資料提供(知事定例記者会見にて)
内容：全体イベントの告知

(2) 雑誌・その他

- 1 9月25日発行「東京熊本県人会会報『くまもと』」(NO. 87) 10月号
内容：全体イベントの告知
- 2 10月中旬発行「都道府県展望」10月号
内容：全体イベントの告知
- 3 11月発行「新建築」11月号
内容：全体イベントの告知
- 4 11月発行「日経アーキテクチュア」11月号
内容：全体イベントの告知
- 5 11月25日発行「財界九州」11月号
内容：全体イベントの告知
- 6 市町村広報誌 11月号(採用市町村のみ)
内容：全体イベントの告知
- 7 11月発行「熊本県建築士会会報」11月号ヘチラシ折り込み
内容：全体イベントの告知
- 8 10月27日配信「住まい・まちづくり活動推進協議会ニュース」
内容：全体イベントの告知
- 9 11月5日配信「九州まちづくりメールマガジン第118号」
内容：全体イベントの告知
- 10 11月中旬 NHKテレビ
内容：アジア国際建築フォーラム、くまもとアートポリス20周年記念展覧会の告知
- 11 11月中旬 NHKラジオ
内容：アジア国際建築フォーラム、くまもとアートポリス20周年記念展覧会の告知
- 12 11月8日(土)「くまにちすばいす」
内容：くまもとアートポリス特別記念シンポジウムの告知

③ 新聞記事

○ 熊本日日新聞

- ・ 9月15日(月)「学習環境の在り方議論 宇土市 小学校改築へシンポ」
- ・ 10月 4日(土)「木造建築の未来考える 熊本市で9、10日シンポジウム」
- ・ 10月19日(日)「県産木材をもっと見直そう」(社説)
- ・ 11月27日(木)「アートポリス事業 20年の歩みたどる」
- ・ 12月 7日(日)「対話が生む熊本の資産 アートポリス20年 新しい歩み」
- ・ 12月23日(火)「熊本の『都市戦略』に生かせ」(社説)

○ 西日本建設新聞

- ・ 8月28日(木)「日程決まる くまもとアートポリス建築展2008 11月21日に国際フォーラム」
- ・ 9月18日(木)「宇土市の学校改築でKAPシンポ 新しい教育環境考える」
- ・ 9月25日(木)「モクバンなど展示 KAPサテライト展」
- ・ 10月16日(木)「KAP建築展でシンポ 木造建築の可能性探る」
- ・ 11月 6日(木)「くまもとアートポリス建築展2008 国際建築フォーラムは21日」
- ・ 11月27日(木)「アジア国際建築フォーラム 都市デザインの可能性探る」
「22、23日にKAP建築セミナー 現場で設計者が語る」
- ・ 12月 4日(木)「西沢立衛氏と佐藤光彦氏 東西駅前広場の魅力語る」
- ・ 12月11日(木)「建築には楽しみ必要 ピーター・クックが記念講演」
(平成21年)
- ・ 1月 1日(木)「くまもとアートポリスの挑戦」

○ 建設通信新聞

- ・ 9月17日(水)「新しい学校建築模索 くまもとアートポリス展」

○ 宇城新聞

- ・ 10月14日(火)「うと教育の日シンポジウム 学びつつ創る、創りつつ育む『これからの教育環境』小学2校の改築から新しい建築のあり方探る」

(2) 成果品等

◆ くまもとアートポリス建築展2008プログラムチラシ (A4版)

くまもとアートポリス建築展2008
みちをひらく
◆ イベント・プログラム ◆

- 9月 9, 13(土)13:00~16:00
オープニングイベント「これからの教育環境」を考えるシンポジウム
(会場)宇土市民会館大ホール(宇土市)
(内容)宇土小学校・網津小学校を題材に、これからの教育環境を考える
(出演者)成田幸夫、小嶋一浩+赤松佳珠子、坂本一成、末廣香織 ほか
- 9, 20(土)~21(日)10:00~16:30
「本道建築のKUMAMOTO的可能性シンポジウム」・サテライト展
(会場)グランメッセ熊本(熊本)
(内容)球磨県球磨村パンガロー、戸北町交流センター等のパネル展を開催
- 10月 10, 9(木)~10(金)19:00~21:00
「本道建築のKUMAMOTOの可能性」シンポジウム
(会場)くまもと県民交流館パレオホール
(内容)アートポリスの建築家と大企業等の可能性を考える
(出演者)入江賢昭、桂英昭、北原昭彦、小嶋一浩、坂本一成、末廣香織、
西沢大良、西山英夫、古川保 ほか
- 11月 11, 21(金)13:00~18:00
アジア国際建築フォーラム
(会場)県立創価大学ホール
(内容)韓国、シンガポール、台湾の潮流から都市デザインの可能性を考える
(出演者)イ・ビョクファン、エドモンド・チャフ、曹成徳、伊東豊雄、高橋和幸ほか
- 11, 22(土)
KAP建築セミナー「現代建築放談 伊東豊雄+赤松佳珠子+桂英昭+
小嶋一浩+坂本一成+末廣香織+曾我部忠宏+高橋晶子+高橋雅+古坂
十壽本壮介+渡藤正記」
(会場)熊本県地下鉄建設
(内容)アートポリスの最新プロジェクトの建築家と現代建築を考える
(出演者)伊東豊雄、赤松佳珠子、桂英昭、小嶋一浩、坂本一成、末廣香織
曾我部忠宏、高橋晶子、高橋雅、古坂十、藤本壮介、渡藤正記
- 11, 23(日)
KAP建築セミナー「アートポリスプロジェクトの現場で設計者が語る
～モクパンと戸北町交流センター～」
(会場)戸北町、球磨県球磨村
(内容)戸北町交流センターと球磨県球磨村パンガローの現場で本道建築を語る
(出演者)伊東豊雄、桂英昭、末廣香織、曾我部忠宏、高橋和子、高橋雅、藤本壮介
永吉孝、渡藤正記
- 11, 26(水)~30(日)10:00~17:00
くまもとアートポリス20周年記念展覧会
(場所)県立美術館分館第1展示室・第2展示室
(内容)アートポリスの建築家たち
→各0のプロジェクトに携った建築家のいまを紹介するパネル展
●7つのプロジェクト
→球磨県球磨村パンガローR2、戸北町交流センター、
熊本県東口、県立創価大学、宇土小学校・網津小学校の作品展
●スペシャルトーク 西沢大良、佐藤光裕(日時未定)
- 12月 12, 8(月)13:00~16:30
ファイナルイベント「建築家ビーター・クックと未来を語る」
(会場)熊本市内(未定)「建築家ビーター・クックと未来を語る」
(内容)英国現代建築の先駆者ビーター・クックを記念、アートポリスのみらいを
考える
(出演者)ビーター・クック、伊東豊雄、桂英昭、末廣香織、曾我部忠宏 ほか

【主催】
熊本県、(財)自治総合センター、
くまもとアートポリス建築展2008実行委員会

【お問い合わせ先】
熊本県土木部建築課(実行委員会事務局)
電話 096-333-2637
FAX 096-384-9820
e-mail kanchi@pref.kumamoto.jp
http://www.pref.kumamoto.jp/traffic/
artpolis/index.html

【お問い合わせ先】
(3ヶ所同時開催)
宇土市民会館大ホール
(宇土市新小路123)
電話 0964-22-0188
くまもと県民交流館パレオホール
(熊本市手取町8-9チリア熊本ビル)
電話 096-355-4300
くまもと庁舎ホール
(熊本市東区公設28-51)
電話 096-387-7777
県立創価大学ホール
(熊本市江2-7-1)
電話 096-363-2233

(KAP建築セミナー開催)
熊本県地下鉄建設
(熊本市東区6-18-1)
電話 096-333-2637
戸北町交流館
各プロジェクト現場の現場を予定

(観覧券情報)
・プログラム印刷版
(上は印刷版送料別1010)
電話 096-286-8000
・県立美術館分館第1・第2展示室
(熊本市千原町2-18)
電話 096-351-8411

このほか、くまもとと観光資源と建築をテーマに見学ツアーや説明事業など、多彩なプログラムをご用意しています。内容は変更される場合がありますので、詳しくは熊本県のホームページ(くまもとアートポリス)をご覧ください。



◆ くまもとアートポリス建築展2008オープニングシンポジウム
「学びつつ創る、創りつつ育む これからの教育環境」プログラム (A4版)

くまもとアートポリス建築展2008オープニングイベント 宇土市制50周年記念事業
くまもとアートポリス「うと教育の日」制定記念シンポジウム
学びつつ創る、創りつつ育む「これからの教育環境」
～ 建築家+教育者+児童+市民 2つの学校計画から新しい建築のあり方を考える ～

宇土市は、教育立市として「うと教育の日」の制定など「文教の町」の再生を進めています。「宇土で学んだと誇りに思う子どもの育成」を目指し、耐震化を目的とした宇土小学校と網津小学校の改築事業では、県のくまもとアートポリス事業を活用して、全国から提案を求め設計者を選ぶとともに、先生、児童、地域の方々など市民多面型の新しい取り組みを行っています。このシンポジウムでは、個性化教育の第一人者である岐阜聖徳学園大学の成田幸夫先生を迎え、2つの学校計画から、新しい教育環境づくりのあり方を考えます。

●日 時 平成20年9月13日(土)13:00~16:00 開場(12:00)

●場 所 宇土市民会館大ホール(宇土市新小路町123)

●プログラム 13:00 オープニングアトラクション 宇土幼稚園園児(合唱)
13:15 主催者挨拶 山下修一(熊本県土木部長)
田口信夫(宇土市長)

13:25 基調講演「新しい学びの風景と学習環境」
成田幸夫(岐阜聖徳学園大学教育学部教授)
鶴城中学校校長(講演)

14:05 アトラクション
14:20 学校計画報告
宇土小学校 小嶋一浩+赤松佳珠子(シーラカンス・アンド・アソシエイツ)
網津小学校 坂本一成(アトリエ・アンド・アイ)

14:50 パネルディスカッション ～ 学校づくり最前線「魅力ある学校とは」
(コーディネーター) 末廣香織(九州大学准教授)
(児童発表) 宇土小学校 池田樹、白井孝明、村上友梨、渡辺百穂華
網津小学校 芥川智祐、樋口円香
木下博信(宇土市教育長)
小嶋一浩+赤松佳珠子(宇土小学校設計者)
坂本一成(網津小学校設計者)
田中士郎(網津小学校長、網津小学校改築検討委員会委員長)
成田幸夫(岐阜聖徳学園大学教育学部教授)
西山英子(宇土小学校長、宇土小学校改築検討委員会委員長)
瀧下かおり(網津小学校PTA副会長、網津小学校改築検討委員会委員)
元松茂樹(宇土小学校PTA会長、宇土小学校改築検討委員会委員)
(教務科、50名順)

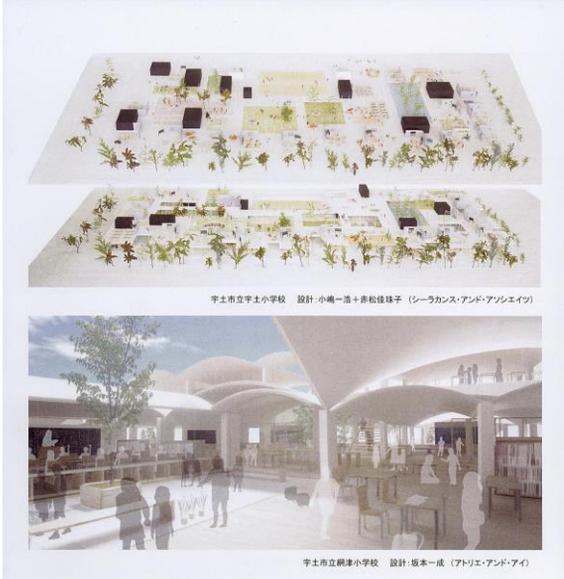
16:00 閉会

講師・設計者のご紹介

成田幸夫 (岐阜聖徳学園大学教育学部教授)
愛知県大府北中学校長、愛知県片岡小中学校長を経て退職。専門分野は教育方法学(個性化教育のシミュレーション研究、総合学習の実践)・教育行政で、著書には、「学校をかえろ力」、「チームティーチングの授業」、「若い教師を育てる」など多数。「学校施設整備計画策定に関する調査研究協力者会議」など文部科学省の委員を多数務める。

小嶋一浩+赤松佳珠子 (シーラカンス・アンド・アソシエイツ)
宇土小学校設計者。主な作品には、千葉市立打籠小学校(日本建築学会賞作品賞1997)、古備高小学校(日本建築学会賞作品賞2000、文部大臣奨励賞2001)、千葉市立美浜打籠小学校など。

坂本一成 (アトリエ・アンド・アイ)
網津小学校設計者。主な作品には、熊本県宮田町(くまもとアートポリスプロジェクト)、House F(日本建築学会賞作品賞1990)、モネンクヴィエ邸(村野浩吾1992)、ogita house A(日本建築学会賞作品賞2008)など。(教務科)



宝くじは誰かぞろくちカラ勝ち
宝くじは、広く社会に
役立てられています。

(主催)熊本県、(財)自治総合センター、くまもとアートポリス建築展2008実行委員会 (共催)宇土市、宇土市教育委員会 (後援)熊本県教育委員会 (アトラクション協力)宇土幼稚園、鶴城中学校校長会

平成20年9月15日(月)

平成20年10月4日(土)

木造建築の未来を考える

熊本市で9、10日、シンポジウム

木造建築の現状と未来について考えるシンポジウム「木造建築のKUMAMOTO的可能性」が九日と十日、二日連続で、いずれも午後七時から同九時まで熊本市手取本町のくまもと県民交流館パレアで開かれる。

「くまもとアートポリス建築展2008」の一環で、同実行委など主催。無料。

木材は日本の気候風土に合った建築材で、熊本は林業も盛ん。しかし、県産材の利用は伸び悩んでいるため、多様な角度から木材の可能性を探ろうと企画した。設計や建築、林業などの関係者や研究者が意見を交わし、木材の地産地消、木造建築の未来などについて考える。問い合わせは県土木部建築課内の同実行委(096)3330302、2515170。

学習環境の在り方議論

宇土市 小学校改築へシンポジウム

県のくまもとアートポリス事業に参加して宇土小と網津小を改築する宇土市の市民会議で十三日、「これからの学習環境」と題し、田幸夫教授が「新しい学習環境と学習環境」を軸に、建築家や教育関係者が学習環境の在り方などについて話し合った。

宇土市の「うと教育」の目録「制定記念と、くまもと教育の活用を提唱し」

物が教育の中心を要してき、学びの場としての家庭の役割が大きい。宇土市は、二〇一一年度までに宇土小と網津小を立て替えるため、設計者を公募し、地域の意見を取り入れながら設計に取り組んでいる。(福井一基)

平成20年10月19日(日)

県産木材をもっと見直そう

林業振興

これからの建築に、木の良さを生かさない。県のアートポリス建築展の一環として、このほど熊本市で「木造建築のKUMAMOTOの可能性」と題するシンポジウムが開かれた。

優れた建造物を文化的遺産として後世に残そうと、二十年前に始まったアートポリス事業だが、木造に焦点を当てた企画は珍しい。熊本は有数の林業県だ。「自然」「環境」がキーワードの時、県産材利用、林業保全にも目を向けたい。

シンポジウムでは、木造建築の新しい試みが紹介された。すき間のある集成材で屋根や壁を作り、柔らかな光が差し込む家。木の柱を鉄骨のようにつなぎ合わせるガラス壁で

社説

だが現実には、林業も伝統の大工技術も、危機的状況にある。

戦後に大量に輸入されたスギやヒノキは成熟、伐採期を迎えている。しかし、国内林業は輸入材に押され疲弊。木材自給率は22・6%(二〇〇七年)しかない。熊本も県土の63%が森林で、年間の木材生産は八十四万立方メートル(同)だが、

丸太価格はピーク時に比べ3割(三割)ほど、四割と低迷している。逆に管理・生産コストは上昇、山林所有者も高齢化し、手入れが行き届かない荒れた山林が増えている。

大工技術も、五十歳代が半分以上を支えている。現在の木造の家は金物や筋交いを使う法が中心。木を運び、ノミなどで刻み、巧みに組み上げる伝統技術が少なくなっている。若手も育たない。十年もすれば、その技術は消える懸念もある。

林業や伝統的な大工技術を残すには、まず地元の本を使うことだ。国産材は、その曲がる、ひび割れる、といった性質がある。これが敬遠され、輸入材と需要が離れた。元に戻らない。伝統的な大工技術の吸湿性、風合いを生かす試みも徐々に生まれていく。シンポジウムで発表された建築もその一例だ。

逆に、木の性質とうまく付き合う伝統的築法もある。建築基準法の規定外で、特殊な計算で耐震性を証明していた。昨年の法改正で計算に厳しいチェックが必要になったが、この十月から熊本での審査が可能になる。

品質が安定した国産材の生産体制も整いつつある。原油価格の高騰などで輸入材価格が上昇、一般的なベニツガの製材価格は一立方メートル六万八千円と、スギの四万一千円を上回る。

県産材はもと見直されて良い。利用が増えれば価格は上がるが、林業振興は環境保全にもつながる。

林業のサイクルは、木を植える、育て、出荷し、再び植える。その循環が切れば、荒れた山林は容易には元に戻らない。伝統的な大工技術、新たな加工技術、そして「県産材を使う」ことが循環を支える。県産材を見直そう。

平成20年12月23日(火)

熊本の「都市戦略」に生かせ

アートポリス20年

公共事業を中心に、デザイン性に優れた建物を建設してきた県のアートポリス事業がスタートして今年で二十年。十一月末から国際建築フォーラムや記念展などのイベントが繰り広げられ、事業の意義を確認する貴重な機会となったようだ。

アートポリス事業は一九八八年、後世に残る優れた建造物を生み出すと、当時の細川護熙知事がドイツの取り組みを参考に提唱。コミッションナーを務める建築家が設計者を推薦する手法で、ガラス張りの熊本北警察署を皮切りに団地や橋、美術館など六十八の建造物を造ってきた。これらの建造物は日本建築学会賞など多くの賞を受賞し、事業自体も若手建築家の登竜門として注目を集

め、アジア各国から視察が相次ぐなど建築関係者から高く評価されてきた。ただ一方で、県民には、デザインが奇抜で実用性に乏しいといったマイナスイメージを受け取られてきた一面も否定できない。

こうした中で開かれた国際建築フォーラムには、豊かな都市(まち)

社説

づくりに向けてと題し、三代目コミッションナーの建築家・伊東豊雄さんの司会で、韓国・シンガポール、台湾の都市づくり関係者と熊本の経済人が参加した。

韓国政府関係者は光州市をアジアの文化拠点とする都市政策、シンガポールの都市開発業者は「デザイン立国」とも言える戦略を説明するな

ど、都市戦略に建築やデザインが積極的に活用されている状況を紹介。先駆的取り組みとして、アートポリス事業を高く評価した。

しかし、熊本の現状はどうか。アートポリス事業にも個々の優れた建造物を点から面へと広げる都市づくりの発想はあったが、事業が都市戦略に本格的に活用される段階にまで達していない実態が、逆に浮き彫りになったと言えそうだ。

フォーラムに参加した経済関係者からも、建築デザインの重要性を再認識したとして、まちづくりへの建築家の積極的な関与を期待する声が出た。事業は多くの建築家を育て、熊本に愛着を持つ関係者も少なくない。確かに、こうした建築家や事業の蓄積を、熊本の都市戦略に生かさないのはもったいないことだ。

アートポリス事業が点から面へと

広がらなかったのは、設計者を決める過程が見えづらい独特の手法が県民との距離を生み、事業についての理解が一般に広がらなかったためではないか。

そうした反省から、宇土小学校などで自治体関係者や住民が参加した公開審査で設計者を決める取り組みが進んでいるのは、望ましい変化と言える。住民が参加してこそ、事業だけでなく建築文化への理解、関心が高まっていくに違いない。

一連のイベントではアートポリスの建造物を巡るバスツアーも企画され、参加者が殺到したという。優れた建造物は観光資源にもなり得ると、関係者は期待を高めている。

深刻化する不況や県財政の危機的状況など、事業を取り巻く環境は大きく変わった。しかし、建築文化の向上を目指す事業は全国でも熊本にしかない。二十年の蓄積を県民の財産として見直し、熊本の都市戦略などに積極的に生かしていきたい。

平成20年10月16日(木)

平成20年11月6日(木)



KAP建築展でシンポ

木造建築の可能性探る

「木造建築のKUMA MOTOの可能性」をテーマにしたシンポジウムが9日、10日の2日間、くまもと県民交流館パレアであり、林業や建築関係者、設計者らが、熊本県の伝統建築や木材の可能性について討論した。くまもとアートポリス(KAP)建築展2008の一環。会場には、県内の建築士や建築家を志す多く

学生、行政の建築担当者らが詰めかけ、専門家の意見に耳を傾けた。初日は、KAP設計競技で「モクバンR2」(木造パンカロー)の設計者、わたた木造住宅などを紹介した。コーディネーターを務めたKAPアドバイザーの桂英昭熊本大学工学部助教授は「林業や建築家など多方面の意見を聞き、今後木造建築が発展するためのヒントをつか

んで欲しい」と、シンポジウムの趣旨を話した。

くまもとアートポリス建築展2008

国際建築フォーラムは21日

「くまもとアートポリスが「建築家サイン」の可能性がある」とKAPが目指す未来をテーマに、11月6日(木)のイベントが、11月21日(日)のイベントが、11月下旬から月初めにかけて、県内各所で開催される。熊本県、自治総合センター、同実行委員会主催。

「建築家サイン」の可能性がある」とKAPが目指す未来をテーマに、11月6日(木)のイベントが、11月下旬から月初めにかけて、県内各所で開催される。熊本県、自治総合センター、同実行委員会主催。

26、30日には、県立美術館分館で、これまでKAPプロジェクトに携わった建築家の「今」を紹介する20周年記念展覧会が開催される。

各プログラムの日程等は次のとおり(①開催日時、②場所内容)

▼アジア国際建築フォーラム「豊かな都市づくりに向けて」

①11月21日(日)午後1時～5時
②県立美術館分館

▼建築セミナー「KAPプロジェクトの現場で設計者が語る「モクバン」」

①11月23日(月)午前8時50分～午後6時30分
②県立美術館分館

▼特別記念シンポジウム「建築家サイン」

①11月26日(木)午後1時～4時30分
②熊本県立美術館分館

▼20周年記念展覧会

①11月26日(木)～30日(日)午前10時～午後5時
②県立美術館分館

▼アジア国際建築フォーラム「豊かな都市づくりに向けて」

①11月21日(日)午後1時～5時
②県立美術館分館

平成20年12月4日(木)

平成20年12月11日(木)

KAP 建築展

建築には楽しみ必要

ピーター・クックが記念講演



建築家や学生、行政関係者ら多くが聴講に訪れた。クック氏は「クレストハウス・グレート美術館(オーストリア)など自ら手掛けた作品をスライドで紹介。「建築やデザインには、楽しみがなくてはならない」

記念講演の後、KAP コミュニティ・アドバイザーの4人と、若手建築家の松原弘典氏、藤村龍至氏を加え、建築の未来についてパネルディスカッションした。伊東豊雄コミュニティは「KAPは、現代建築を考える良い機会を与えてくれる。今は遠くの人とコミュニティが成立する時代、KAPはそういう新しい空気を創り出しつつある」と総括した。

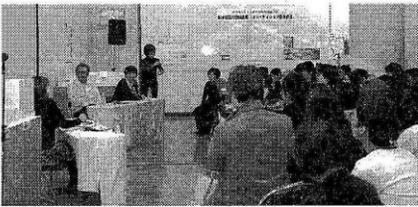
世界的に有名な英国建築家のピーター・クック氏を招き、くまもとアートポリス(KAP)記念シンポジウム「建築家ピーター・クックと未来を語る」が8日、熊本テルサで開かれ、県内外の建築関係者ら約100人が参加した。

KAP 建築展

西沢立衛氏と佐藤光彦氏 東西駅前広場の魅力語る

くまもとアートポリス(KAP)事業で熊本駅の東西駅前広場を設計している建築家の西沢立衛氏(西沢立衛建築設計事務所、東京)と佐藤光彦氏(佐藤光彦建築設計事務所、東京)のスペシャルトーク「新名所発見!熊本駅前広場の魅力を探る」が11月30日、県立美術館分館であった。KAP建築展「20周年記念展覧会」の特別企画。

西沢氏が手掛ける東口駅前広場案は、機能別に分けられた各ゾーンに雲のような屋根を掛け、連続性をもたせようというもの。これに対し、佐藤氏の西口駅前広場は、広場の周囲に壁を設けることで半屋外の公園のような空間を提案している。両氏とも、駅前広場のイメージや設計コンセプト、進捗よく状況などを説明し、「他の都市にな



スペシャルトーク(上)と展覧会(下)の様子



らば、「周辺の都市開発まで設計できたらどうしたいか」「構造とデザインのどちらを先に決めたのか」「中心市街地に向けた連続性のある仕掛けができないか」などの質問が寄せられた。同館では、11月26日から30日までKAP20周年記念展覧会を開催。KAPに携わった建築家の今を伝える「KAPの建築家たち」と、現在進行中のプロジェクトを紹介する「七つのプロジェクト展」が開かれ、多くの見学者でにぎわった。

平成21年1月1日(木)

(5) 平成21年(2009年)1月1日(木曜日) 第3974号

西日本建設新聞

(昭和28年4月22日第3種郵便物認可)

みちをひろく

くまもとアートポリスの挑戦



Kumamoto Art Polis

KAP建築展を振り返って

熊本県土木部次長 岩下修一



熊本県下を舞台に後世に
残し得る優れた建造物を造
り、熊本独自の豊かな生活
空間を創出することを目的
とする「くまもとアートポ
リス」は、昭和63年の事業
として、昭和三十九年の事

開始から20年が経過した。
その事業成果を内外へ情報
発信することを目的に、こ
れまでに4年に一度「建築
展」を開催しているが、平
成20年の秋に「くまもとア
ートポリス建築展2008」
として、シンポジウム
や展覧会などを集約的に開
催した。
実施した熊本県の主産事
業9件、各種団体や市町村
との協賛事業17件の全て、関
与者は、昭和三十九年の事

学びつつ創る、創りつつ育む

後世に残り得る優れた建造物を創造しようと
と始まった熊本県のくまもとアートポリス
(KAP)事業が、20年の節目を迎えた。参加
プロジェクトは80を超え、その建造物は日本
建築学会賞など多くの賞を受賞、国内はもと
より、海外からも高い評価を得ている。
平成17年からは、建築家の伊東豊雄氏が3
代目KAPコミッションを務める。学びつ
つ創る、創りつつ育むを掲げ、次代を担う若
手建築家の育成にも力を注いでいる。手掛け
たプロジェクトは、「モクバ」熊本駅前広
場、「宇土小」など8件。ほとんどの設計者を
コンペティションやプロポーザルで選定し、
その審査課程を公開。設計者決定後もワーク
ショップを取り入れるなど、新しい挑戦を統
括している。
昨春秋には伊東コミッションになって初
めての建築展が開催され、アジア国際フォー
ラム、建築セミナーなど多くのイベントが展
開された。テーマは「みちをひろく」。熊本の
優れた建築を内外に情報発信することで、建
築デザインの未知なる可能性を切り開き、K
APの更なる飛躍を目指す」という意味が込
められている。

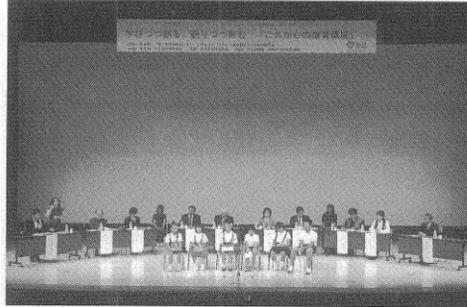
くの県民の皆様に足を運ん
でいただき、成功裏に事業
を終えることが出来たと
感謝を申し上げます。
特にメソンの事業であっ
たアジア国際建築フォー
ラムでは、文化を切り口
として都市政策を進めてお
られる韓国、台湾、シンガ
ポールからの代表者をお招
きし、貴重なお話を伺うこ
とができ、さらに、県内の
パブリックから市民主体の
事業運営の大切さが述べ
られ、今後のアートポリス
展開にとって示唆に富んだ
議論が熱く展開された。こ
の今回の建築展を終えて、
多くの県内外の方々がア
ートポリスに対して強い関心
を持っておられることを改
めて認識するとも、ア
ートポリスの20年間という
「継続」がまた「力」と
なってきたことと、さら
に、今回の建築展のテーマ
「みちをひろく」に呼んで、
アートポリスの果たすべき
役割が、熊本の都市(まち)
づくりに対して新しい段階
へと踏み込んだことを実感
した。
今後とも、くまもとア
ートポリスに対し、「ご理解
とご支援を賜りたい。」

日中の教育とシンポジウム

学びつつ創る 「これからの教育環境」 創りつつ育む

小学2校の改築から新しい建築のあり方探る

宇土市は市制50周年を迎えるにあたり教育立市を掲げ、施行日の10月1日を「教育の日」と制定したが、同時に市内の学...

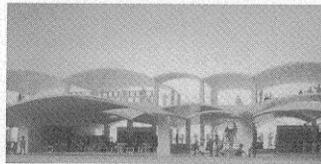


「うと教育の日」のパネルディスカッション。開始前、児童たちが希望を語った。

校舎等の建築設計は全園から公募。市民参加の審査のもと、先頃2組の設計者が選定された。9月13日には、学びながら創る、創りながら育...

成田教授は「新しい学校の風景と学習環境」と題し基調講演を行った。この中で先ず、子どもにとってのより良い環境までには知識理解の基礎学力が大切だが、これからは人格形成の能力、自立型...

かつたが、今後は変わる。とし、個別グループ型の学習を例にメディアを使い、1人だけの勉強もあると語り、そのための魅力ある生活空間が必要だと唱えた。



さるに、学びを劇的に変えるには、①学習環境を変え、学びを問い直すこと、②教師自身の意識改革を掲げた。

また子供には早手遅手がおり、小学3、4年生までの成績は関係なく、多くは失敗も大切だとする一方、責任ある行動、情緒性を育まねばならないとし、そのためには厳しさとやさしさが必要だと力説した。

「宇土タイプ」

学校計画の報告では、宇土小担当の小嶋赤松両氏がスライドを使い、平面図や各種イメージ写真など、真イラストで詳しい説明を行った。

これまでいくつもの学校建築を手がけてきた両氏は、宇土小の設計を「物づくりでなく、出来事をつくっている」とも試みであると明かした。

「宇土学」の副読本

パネリストカッションでは、学校づくり最前線「魅力ある学校とは」と題し、九州大学の末廣香織教授をコーディネーターに、先の3氏と木下教育長...

最後に末松氏が「我々自身が生きる力をつける事が大切」と締め括った。

（左）宇土小改築後の全景模型写真、（中）網津小改築後の校舎模型写真

3. 參考資料

① くまもとアートポリス建築展2008実行委員会会則

第1章 総則

(名称)

第1条 この団体は、くまもとアートポリス建築展2008実行委員会(以下「本会」という。)という。

(目的)

第2条 本会は、くまもとアートポリスのこれまでの成果を広く内外に紹介し、アートポリスのさらなる飛躍と熊本ならではの魅力的な生活文化の創造を目指す、くまもとアートポリス建築展2008の実施を目的とする。

(業務)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次のことを行う。

- (1)くまもとアートポリス建築展2008の計画に関すること。
- (2)くまもとアートポリス建築展2008の開催準備に関すること。
- (3)くまもとアートポリス建築展2008の実施運営に関すること。
- (4)その他、本会の目的達成に必要な事業に関すること。

第2章 委員等

(役員の種類及び選任)

第4条 本会には、次の役員を置く。

会長 1名
副会長 2名
委員 21名
監事 1名

- 2 会長は熊本県知事とする。
- 3 副会長は、くまもとアートポリスコミッショナー及び熊本市長とする。
- 4 会長、副会長以外の委員及び監事は、会長が委嘱する。
- 5 委員及び監事は、相互に兼ねることはできない。

(役員職務)

第5条 会長は、本会を代表し、会務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。
- 3 委員は、委員会を構成し、会務の執行を決定する。
- 4 監事は、本会の業務執行状況を監査し、委員会に報告する。

(任期)

第6条 会長、副会長、委員及び監事(以下「委員等」という)の任期は、本会の目的を達成するまでとする。ただし、委員等が委嘱時におけるそれぞれの機関及び団体の役職を離れたときは、会長は当該委員等を解職し、解職された委員等の後任の役職の者に、新たに委員等を委嘱する。

第3章 委員会

(構成)

第7条 委員会は、委員等をもって構成する。また、委員等が委員会に出席できない場合は、委員等が定める代理人を含めて委員会を構成することができるものとする。

(機能)

第8条 委員会は、この会則に定めるもののほか次の事項を議決する。

- (1)事業計画の決定
- (2)事業報告の承認
- (3)その他、本会の運営に関する重要な事項

(招集)

第9条 委員会は、会長が招集する。

(議長)

第10条 委員会の議長は、会長又はあらかじめ会長が指名する者がこれに当たる。

(議決)

第11条 委員会の議決は、委員会構成員の総数の半数以上が出席する委員会において、出席者の過半数の同意をもって決する。ただし、可否同数の場合は議長の決するところによる。

第4章 会計

(経費)

第12条 本会の経費は、負担金その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第13条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって充てる。

2 会計に関し必要な事項は、事務局長が定めるものの他、熊本県の財務に関する諸規則の例による。

(予算及び決算)

第14条 収支予算は、委員会の議決を経て定め、収支決算は、監事の監査を経て委員会の承認を得なければならない。

第5章 事務局

第15条 本会の事務を処理するために事務局を熊本県土木部建築課内に置く。

2 本会の事務局長は熊本県土木部建築課長とする。

3 事務局に関し必要な事項は、事務局長が別に定める。

第6章 雑則

(解散)

第16条 本会は、その目的が達成されたときに解散する。

(運営規則)

第17条 この会則に定めのあるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な規則は、会長が別に定める。

付 則

この会則は、平成20年8月25日から施行する。

② くまもとアートポリス建築展2008実行委員会 委員構成

役職	所属及び役職	委員名
会長	熊本県知事	蒲島 郁夫
副会長	くまもとアートポリスコミッショナー	伊東 豊雄
副会長	熊本市長	幸山 政史
委員	熊本県議会建設常任委員会委員長	吉永 和世
委員	宇土市長	田口 信夫
委員	芦北町長	竹崎 一成
委員	熊本県市長会副会長	安田 公寛
委員	熊本県町村会会長	荒木 泰臣
委員	熊本県文化協会会長	小堀 富夫
委員	熊本経済同友会代表幹事	小栗 宏夫
委員	熊本県商工会議所連合会会長	中尾 保徳
委員	社団法人 熊本県観光連盟会長	河野 延夫
委員	社会福祉法人 熊本県社会福祉協議会会長 (H20.11.24まで) 同 常務理事 (H20.11.25から)	潮谷 義子 原田 正一
委員	熊本大学学長	崎元 達郎
委員	熊本県立大学学長	米澤 和彦
委員	東海大学副学長	松前 義昭
委員	崇城大学学長	中山 峰男
委員	社団法人 日本建築学会九州支部熊本支所長	河野 昭雄
委員	社団法人 熊本県建設業協会会長	味岡 正章
委員	社団法人 熊本県建築士事務所協会会長	古川 裕久
委員	社団法人 土木学会西部支部長	久保 晶紀
委員	財団法人 熊本県建築住宅センター理事長	三井 宜之
委員	社団法人 日本建築家協会九州支部熊本会代表	東大森 裕子
委員	熊本県土木部長	松永 卓
監事	社団法人 熊本県建築士会会長	中尾 憲征

(敬称略)



くまもとアートポリス
kumamoto artpolis



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
役立てられています。

発行：熊本県、(財)自治総合センター

くまもとアートポリス建築展2008実行委員会(熊本県土木部建築課内)

〒862-8570 熊本市水前寺6-18-1

TEL 096-333-2537

FAX 096-384-9820